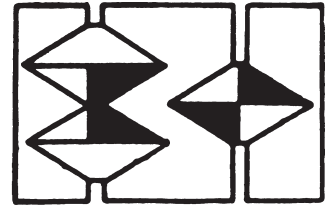


第219号

〔発行〕
令和6年2月11日

〔発行所〕

〒600-8009
京都市下京区四条通室町東入
京都商工会議所内
京都珠算振興会
☎075(353)7124 075(353)7125



〔北野天満宮〕 新春そろばんはじき初め

令和6年1月5日（金）、コロナ禍

中は中止となっていた北野天満宮での新春そろばんはじき初めが4年振りに行われました。参加人数が予想では100名を超えればいいかなあ？という予定ではありましたが、当日は予想を大きく上回る174名もの生徒達が参加し、本殿にてお祓い・御祈祷を受けました。

御祈祷後は絵馬所に再び集合の後、北野天満宮宮司様よりご挨拶を賜り、福男・福女の抽選が行われました。図書カードやカップを授与された生徒たちは大変嬉しそうにしており、子供達の満面の笑顔が新春を華やかに彩りました。

次に模範演技として、そろばんグラフンプリジャンパン2023において読上暗算日本一を獲得した、立命館大学の本間聖康選手が5桁〜13桁の問題を見事に正解し、会場は感嘆の声と大きな拍手で沸きあがりました！その後、400桁のそろばんを用いてのはじき初めを簡単な読上算で参加生徒全員が行い、最後に北野天満宮様・ニューイクゼン社から寄贈いただいた参加賞並びに干支のキーホルダー、生徒それぞれの名前が印刷された上達賞の賞状が参加者全員に贈呈されました。



今年4年振りかつ京都珠算振興会での単独開催ということもあり、参加人数不足の懸念も当初はありましたが、無事盛況を収めることができましたように感じられます。また来年以降も新春の恒例行事として、たくさんの方の生徒達の参加を期待したいと思います。最後に実行委員会の先生方をはじめ、準備担当者、当日早朝よりお手伝いいただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

塾経営広報委員会



第67回塾生珠算競技大会

令和5年11月3日(金・祝)、京都経済センター7階京都商工会議所会議室において第67回塾生珠算競技大会が小学生・中学生・高校生合わせて134名参加の下、開催されました。大会は、入江実副会長からあいさつと川本敏代競技委員長から競技上の注意があり、競技が開始されました。

競技は、団体・個人総合競技、よみあげ算競技、よみあげ暗算競技、フラッシュ暗算競技の順で熱戦が繰りひろげられました。

団体総合競技においては、そろばん脳育学園が小学4年生以下の部で2連覇、小学5・6年生の部は4連覇で、中学生の部は、西京都学院が1795点という高得点で2年ぶり、高校生は、平安速算会醍醐教場が4年ぶりにそれぞれ制しました。

個人総合競技は、小学4年生以下の部は、高山開智選手が2連覇、小学5・6年生の部は、高橋風介選手が3年連続の満点で初の満点となった矢ヶ部椎菜選手との同点決勝を制し、二連覇(小学4年生以下の部を含めて3年連続)、中学生の部は、久野凌佑選手が、三原駿介選手との満点同士の同門対決を制し、高校生の部は、三原智輝選手が5年連続満点での二連覇(中学生の部を含めて4年連続の優勝)となりました。

種目別競技は、小学4年生以下の部は、よみあげ算とよみあげ暗算を河松中悠太選手、フラッシュ暗算を河

井七翔選手が制しました。小学校5・6年生の部は、よみあげ算を矢ヶ部椎菜選手、よみあげ暗算を尾崎敦啓選手、フラッシュ暗算を高橋風介選手がそれぞれ優勝し、2年連続で3種目の優勝者が異なる熱戦となりました。中学生の部は、全種目を矢ヶ部菜月選手が制しました(よみあげ算は三連覇)。高校生の部は、よみあげ暗算とフラッシュ暗算を三原智輝選手が二連覇(中学生の部を含めると4年連続)したものの、よみあげ算を橋本樹選手が二連覇で制し、三原選手の個人4冠を阻止しました。

今年も、満点獲得者が5名でした。来年は全部門、満点により優勝が決まるレベルの高い大会になることを期待しています。

また、種目別競技でも、小学生の部は、2年連続で各種目の優勝者が異なるなど、非常に白熱した大会となりました。

表彰式の前には、そろばんグランプリジャパンシニア部門日本一の磯貝勇誠選手(京都大学1回生)のフラッシュ暗算の模範演技の披露もありました。

来年は、更に活気のある大会となるよう、会員の先生方には、ぜひ団体を構成し、1人でも多くの塾生を参加させていただき、活気ある大会となるよう、ご協力をお願い致します。

当日、お手伝いいただいた先生方、青年学生部の方、ありがとうございました。

競技委員会



京都珠算振興会の新年会が令和6年1月14日(日)午後6時よりホテル京都エミナスで開催されました。最初に児島宏尚会長からの挨拶があり、柴隆利副会長に乾杯をしていただきました。その後皆様と一緒に楽しく食事しました。食事の後半に入り、ジャンケンゲームと抽選会を実施しました。児



新年会

島会長、寺田常務理事から景品の提供が有りました。最後に入江副会長の閉会の挨拶が有り、出席者全員で集合写真を撮り、午後8時に閉会しました。

なお集合写真以外に山本先生が多数テーブルの写真が撮られていました。必要な方は事務局へ申込して下さい。

総務委員会



研修会

令和6年1月14日(日)委員会・例会閉会後に株式会社朝日プリント社代表取締役の山田繁様をご招待して研修会を開催しました。「今後のそろばん業界について」という演題で約1時間半に渡って熱い思いの伝わる講演をしていただき、参加された先生方も大変熱心に聴き入って居られました。そろばんだけが持つ魅



力や朝日プリント社としての取り組みもお話いただき、今後コロナ禍を乗り越えて各先生方がどのようにそろばんをアピールしていかなければならぬのかを考えるヒントを、たくさん頂くことができました。

また指導者・経営面の問題だけではなく、職人不足による「そろばん」自体の不足も問題視をされており、解決策として新しいそろばんの開発と、その試作品もご披露いただきました。カラフルな多色展開で、材質は木材ではないものの、弾き心地にもこだわりを持って作成され、今春以降に発売を予定されておられます。上級生や段位生・中高生に向けたものではなく、ターゲットを初歩の生徒や園児・低学年の子供たちに絞ったものとして、そろばんの導入

部分により楽しさや興味、エンタメ性を持たせる面では、とても魅力的な商品に感じられました！
新年早々から大変貴重なお時間を割いていただき、御講演いただきました山田繁社長に改めて振興会会員一同、深く感謝申し上げます。
塾経営広報委員会



令和5年度第3回例会

令和6年1月14日(日)午後2時30分より各委員会より事業経過と予定の報告がありました。

最初に元日に発生した能登半島地震での犠牲者の方々や本年度中に物故者となられた明石正次先生と上田幸子先生に黙祷を捧げました。

先ず事務局より日本珠算連盟70周年記念で発行のステッカーは会報と同時に配布します。近畿珠算連合会から「クオ・カード」の販売があり、一会員一口(10枚)ですが、一号多塾会員は、登録塾数の口数分、購入できます。1月25日がメ切ですとお知らせがありました。

総務委員会から会報219号を2月11日発行します。新年会は「ホテル京都エミナス」で参加者は27名です。本年度は役員改選の年です。委員会等変更の希望があれば1月中旬に申し出て下さい。

検定委員会から、4月から受験料改訂のプリント配布。24年度検定予定表は2月11日に渡しますが、6月検定は第4日曜日実施、令和7年2月検定の申し込みは1月7日(火)必着でお願いします。要望があれば検定委員会迄申し出て下さい。

塾経営・広報委員会は、1月5日(金)4年振りに北野天満宮にて「はじき初め」を振興会単独で実施、事前申込みは120名のところ174名の参加で、賞状や参加賞の追加の調達が大変でした。例年の絵馬に替り千支のキーホルダーを配布。大変好評でしたので先生が不参加でも生徒の参加を遠慮せずにとの事。優良生徒表彰式が2月18日(日)東部文化会館にて開催です。関係書類は2月初めに渡します。昨年度の反省も含めより良い式典にしたいです。

競技委員会は11月3日実施の塾生大会及びそろばんコンクールの報告、252名参加で70周年記念ファイナルを配布。あんざんコンクールも沢山の参加をよろしく願います。

11月末の二十四代珠算名人位決定戦の報告。群馬県で11月3日開催された関孝和先生を追悼する大会で本間聖康選手が、よみあげ暗算で14桁を合わせ優勝。12月21日の京都新聞に掲載されました。1月28日第52回近畿珠算大会京都府予選があります。

例会終了後、新年会場への送迎バスに三々五々集合しました。
総務委員会

二十四代珠算名人位 決定戦観戦記

二十四代珠算名人位決定戦が11月26日(日)KFCホール(東京都)において、67名の選手が参加して熱戦が繰り広げられた。京都からは磯貝勇誠選手と三原智輝選手が出場した。

前回はコロナ禍で昼からの開催だったが、今回は5年ぶりに朝からの開催となった。

堀内遥斗二十三代珠算名人の連覇か、新たな名人の誕生となるのか注目された。

大会は前回準名人の磯貝選手の選手宣誓の後、1回戦が行われた。1回戦は7種目70点満点の総合競技形式で、上位15名に堀内名人を加えた16名がトーナメントとなる2回戦に進むこととなる。今回は以前のように入種目ごとの交換採点で緊迫した雰囲気となった。今回はかけ算がかなり複雑だったようで、満点は7名と前回を下回った。その後695点で7名残り1つの枠を690点の7名の中から選出することとなった。京都の選手は、磯貝選手が2大会連続の70点満点での2回戦進出、三原選手は685点であと一歩であった。

ほとんどの選手が過去の全国大会で日本一を経験しており、激戦となった690点の同点決勝は、今年のそらばんグランプリジャパンスクール部門日本一の辻窪凜音選手が勝ち抜けた。

突破した16名の顔触れは社会人6名、大学生5名、高校生2名、中学生3名と前回に比較して、社会人が健闘した印象を持った。(16名のうち10名が前回に続いての2回戦進出)

2回戦以降は、この16名による1対1のトーナメントとなる。Aブロックは、2回戦屈指の好カードとなった堀内名人(大3・千葉県)と同点決勝を勝ち抜いた辻窪選手(高3・埼玉県)は、最終の7種目目までもつれる熱戦を辻窪選手が制し、堀内名人の連覇を阻止した。それ以外の3試合については、同じく最終7種目目までもつれた2試合を園田柚子選手(中2・埼玉県)と宮本理香子選手(社会人・東京都)が制し、もう1試合は小原陽菜選手(高3・埼玉県)が貫録勝ちし、3回戦に進んだ。

Bブロックは、磯貝選手にミスが出て、藤井智貴選手(社会人・宮城県)に先行を許す苦しい展開の中、最終の7種目目までもつれたものの、何とか3回戦に進出した。残る3試合については、同じく最終7種目目までもつれた2試合を金本愛夢選手(大1・大阪府)と篠塚晴斗選手(大2・埼玉県)が制し、もう1試合は弥谷拓哉選手(社会人・埼玉県)が同級生対決を制し3回戦に進んだ。

3回戦は辻窪選手対小原選手の同門対決、園田選手対宮本選手の中学生と社会人の対戦、金本選手対磯貝選手と同級生対決、篠塚選手対弥谷選手の大学の先輩後輩対決の組み合わせとなった。

磯貝選手は、1種目の伝票算は挙手で先行を許したものの、相手の

ミスもあり先取し、その後は一貫して先に挙手し4勝2敗で準決勝に進出した。

残りの3試合は辻窪選手が4勝1敗、弥谷選手が4勝1敗1分けで危なげなく、準決勝に駒を進めた。残る1試合は最終7種目目までもつれた接戦を3勝3敗1分けとなったが、得点合計で宮本選手が1勝3敗からの逆転で準決勝に進出した。

準決勝は、辻窪選手と宮本選手、磯貝選手と弥谷選手の対戦となった。

磯貝選手は、挙手で先行したものの最初の3種目にミスが出たことで、2敗1分けと追い込まれ、みとり暗算・みとり算を驚異的なスピードで2勝2敗1分けまで追いつき、最終7種目目まで粘ったものの2勝3敗2分けで惜しくも敗退し、弥谷選手が名人位決定戦に進出した。

もう1試合は、終始圧倒し辻窪選手が4勝1敗で名人位決定戦に進出を決めた。

この結果、名人位決定戦は、二十四代珠算名人位決定戦以来の同門対決であり、2人とも埼玉県の手として初の進出となった。

名人位決定戦は辻窪選手と弥谷選手の戦いとなった。最初の種目わり暗算は弥谷選手が先取し、2種目目みとり算を辻窪選手が、3種目目わり算・4種目目伝票算を弥谷選手が取り、ここで王手をかけた。しかし、ここから5種目目みとり暗算、6種目目かけ暗算を辻窪選手が取り返し、3勝3敗となり、ともに得意としている7種目目のかけ算で勝負が決まることとなった。最後は弥谷選手が

先に挙手し6点満点で振り切り、4勝3敗で二十四代珠算名人位に輝いた。大会を通じて心技体が充実し、名人にふさわしい競技態度も印象に残った。

前回大会に引き続き誰が名人となってもおかしくない接戦が多くあり、見ごたえのある名人位決定戦であったと思う。

今回ベスト4に終わった磯貝選手は、2大会連続で名人に敗れる悔しい結果となった。2年後の二十五代珠算名人位決定戦では敗退した2大会の反省を踏まえ、心技体の全てにおいて成長しリベンジを期待したい。

また、三原選手についてはあと一歩で2回戦進出を逃した。次回は、1回戦は70点満点での通過を目指し、これからの練習に励んでもらうとともに、他の全国大会での活躍も期待したい。

(成績の詳細は、日本珠算700号を参照ください。)

競技委員会 木下 卓巳

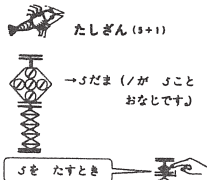


2023年 全国そろばんコンクール 京都大会成績 金賞入賞者一覧

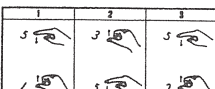
令和5年11月・12月実施 申込者数 261名 参加者数 252名

①小学校1年生以下の部(6名)	875 井上 斗里 (醍 醐)	2022年全国 99位 970	1040 松島有希乃 (醍 醐)
670 村瀬 瑛祐 (ábaco)	830 水上 拓真 (北 山)	⑥小学校6年生の部 (41名)	980 早川 璃子 (ábaco)
625 松浦 陸人 (ア イ)	825 加藤 心優 (脳 育)	1190 高橋 風介 (ábaco)	965 北山 隼 (入 江)
2023年京都 銀賞570以上	795 中村 遥太 (ア イ)	1160 矢ヶ部 椎菜 (脳 育)	945 林 歩咲 (脳 育)
2022年全国 99位 565	790 尾藤 佑飛 (ア イ)	1045 鈴木 淳哉 (ア イ)	935 湖上 紬希 (ábaco)
②小学校2年生の部 (15名)	780 古荘 れあ (ア イ)	1035 松本 愛弓 (ア イ)	930 橋本 紗希 (ábaco)
695 松原 怜誠 (北 山)	775 山本 翔大 (ねこだんご)	975 宮島 彩夏 (ア イ)	930 矢田 正鷹 (桃 南)
685 児島 業緒 (北 川)	760 山下 佳純 (高野修学院)	935 松井 嶺 (醍 醐)	2023年京都 銀賞765以上
545 浅井 湧成 (白梅町)	755 小西 陽 (ア イ)	930 井上 優里 (醍 醐)	2022年全国 99位 1050
540 大槻 凜 (脳 育)	745 龍頭 杏奈 (ねこだんご)	920 小寫 理紗 (猪 熊)	⑨中学校3年生の部 (4名)
520 砂田 心春 (脳 育)	2023年京都 銀賞590以上	920 藤野 百優 (北 山)	1160 矢ヶ部 菜月 (脳 育)
2023年京都 銀賞415以上	2022年全国 98位 935	905 中尾 陽葵 (荒 井)	2023年京都 銀賞975以上
2022年全国 96位 710	⑤小学校5年生の部 (49名)	885 寿野 楓 (北 山)	2022年全国 99位 975
③小学校3年生の部 (35名)	1105 佐藤 光 (ア イ)	880 杉寫 一希 (脳 育)	⑩高校生の部 (11名)
950 眞島 凜 (脳 育)	1090 風間 芽奈 (醍 醐)	880 齋藤 梨乃 (醍 醐)	1200 三原 智輝 (西京都)
940 河井 七翔 (ア イ)	1080 民谷 萌々香 (醍 醐)	865 桑名 芽生 (ア イ)	1130 嶋 蒼葉 (白梅町)
810 柴田 明莉 (北 山)	1015 尾崎 敦啓 (脳 育)	2023年京都 銀賞685以上	1120 喜多 桃香 (入 江)
805 蔵城 禾子 (猪 熊)	1010 山本 穂花 (脳 育)	2022年全国 95位 1040	2023年京都 銀賞860以上
795 上甲 颯大 (脳 育)	1000 吉井 晨悟 (ábaco)	⑦中学校1年生の部 (22名)	2022年全国 94位 1110
775 石原 滉一郎 (ábaco)	915 前田 蒼空 (醍 醐)	1190 久野 凌佑 (西京都)	⑪一般の部I (50歳未満) (7名)
765 森田 桜香 (北 山)	910 久世 倫太郎 (猪 熊)	1165 竹谷 快斗 (醍 醐)	1200 本間 聖康 (西京都)
745 佐藤 理一 (ねこだんご)	900 前川 晃成 (猪 熊)	1150 山本 柚葉 (脳 育)	1200 磯貝 勇誠 (西京都)
695 金川 湊太 (脳 育)	865 白鳥 心椛 (脳 育)	1095 尾崎 壮祐 (脳 育)	1190 土生 桃子 (ア イ)
680 内海 裕斗 (醍 醐)	860 砂田 颯太 (脳 育)	985 原田 優希 (猪 熊)	2023年京都 銀賞1090以上
665 島本 舜也 (北 山)	855 牧野 豪介 (猪 熊)	935 小川 紗波 (ábaco)	2022年全国 99位 1120
665 兼崎 紬未 (北 川)	835 近藤 大翔 (入 江)	915 今井 風歌 (北 川)	⑫一般の部II (50歳以上) (0名)
2023年京都 銀賞485以上	810 上村 壱弥 (猪 熊)	910 長谷川 由衣 (醍 醐)	2023年京都 銀賞 - 以上
2022年全国 98位 860	810 井上 瑠香 (脳 育)	2023年京都 銀賞785以上	2022年全国 61位 200
④小学校4年生の部 (37名)	775 大岩 幹大 (猪 熊)	2022年全国 100位 1040	
1120 高山 開智 (脳 育)	770 中司 宗佑 (ábaco)	⑧中学校2年生の部 (25名)	
955 松中 悠太 (ábaco)	2023年京都 銀賞650以上	1185 三原 駿介 (西京都)	

ちびっこ 0 18頁



◆ゆびを うごかす おけいこ (はかいしました?)



CPポイント ©セツメイ堂出版 0532-45-5956

目と指で、イメージ学習 ちびっこそろばん(0)~(11)

難しい理屈は大の苦手でも、子どもたちは物事をイメージで捕えて、体で覚えることは得意です。目で覚え、指で理解することの大切さ。ちびっこそろばんシリーズはこの点に着目した業界初の園児でも学習可能な初歩教材です。豊富な図解に的確な指導要領——分かりやすい教材は、また教えやすさの証明です。類似書の追隨を許さぬ高いシェアを誇ります。特に重要な入門段階では、復習用にプリント集もございます。



B5判 48頁・定価 ¥300

佐藤出版株式会社 ☎(0532)45-5956・FAX 48-4653

お悔やみ

明石正次先生を偲んで

副会長 谷口孝男

令和5年11月20日、明石正次先生（78歳）が逝去されました。ここに心より哀悼の意を表します。

明石先生は、昭和43年に京都珠算振興会に入会（事務局調べ）されました。

競技委員会に所属され、その後、昭和51年から平成6年まで18年間、競技委員会の常務理事として当会を支えてくださいました。また、日本珠算連盟の理事も務められました。

その間、国民珠算競技大会（そろばんグランプリジャパンの前身）の京都府の監督として、一般の部での京都商工会議所チーム、学生の部での明德商業高等学校（現京都明德高等学校）の団体日本一や都道府県対抗競技の日本一、個人のそろばん日本一を幾度となく、経験され、その重責を果たされました。

明石先生は、京都府の代表監督としてだけで実績を残された方ではありません。

次から記しますことは、生前ご本人が話されていたことや、当会の記念誌からの記録です。主に競技の話題になりますが、先生がご指導された3名の選手の方をご紹介します。

1人目は、昭和39年、先生ご自身が恩師辻浦清美先生のそろばん教室

で助手をされていた時、小学3年生の少女が入会されました。その方は、松村諭美子さんです。初歩からある水準のところまでは先生が、それ以降は恩師の先生がご指導されたとお聞きしました。松村さんは、昭和49年から55年にかけて、全日本珠算選手権大会「日本一」2回。国民珠算競技大会「そろばん日本一」2回。珠算名人位決定戦では、初代・二代・三代の珠算名人位を獲得され「初代珠算永世名人」（三期以上連続で名人に選ばれた選手に贈られる称号）に輝かれました。辻浦先生は明德商業高等学校を珠算の強豪校に導かれ、数々の偉業を達成され、当会の副会長や日本珠算連盟の競技部長もされていきました。松村さんも引退後は、当会に入会され、競技委員会の常務理事として力を貸してくださいました。

2人目は、谷村麗香さんです。平成3年、小学1年生から早くも頭角を現し、近畿珠算競技大会にも小学1年生（当時、小学4年生以下の部はなく、6年生まで同一部門）で出場、中学3年生までの9年間で、個人優勝5回（全て750点満点）を達成されました。また、全日本通信珠算競技大会やそろばんコンクールでも日本一を経験されました。高校は、当時、珠算部があった京都学園高等学校（現京都先端科学大学附属高等学校）に入学。高校生のそろばんの甲子園と言われていた「全国高等学校珠算競技大会」で個人総合競技と読上算競技での「優勝」をはじめ、数々の大会でタイトルを獲得されま

した。現在は、明石先生が創設されたそろばん教室「修学館」の後継者として館長をされています。

3人目は、永井友也くんです。平成25年、小学4年生から京都の大会で優勝を飾るように成長されました。平成27年、小学6年生の時には、そろばんグランプリジャパン・ジュニア部門において「そろばん日本一」に輝かれました。スピード、正確性とも日本一に相応しい戦いぶりでした。現在は、京都大学に通われています。

以上の他にも、先生の指導歴約60年の間に、全国あんどん・そろばんコンクールで全国一の選手や、全国大会で活躍する選手を多数輩出されました。

また、先生は、パソコンにとっても見識があり、大会や練習問題を作成するためのソフト、段位認定試験の成績処理システムを開発されるなど、当会に多大な貢献をいただいております。最近では、普通に通われている生徒用に、パソコンを利用した教材もたくさん開発され、それを当会の研修会でご説明いただき、会員の先生方にくわつものソフトを無料で提供してくださっていました。本当に感謝の気持ちで一杯です。天国に旅立たれました先生のご冥福を心からお祈りいたします。合掌



上田幸子先生を偲んで

検定委員会理事 渡部京子

上田幸子先生は、1973年（昭和48年）4月に京都珠算振興会にご入会され、お亡くなりになった2023年（令和5年）10月までの51年間に在籍されました。

私が、初めて上田先生とお会いしたのは、30数年前になります。伏見区の検定試験会場の「京都経理専門学校」でした。当時は、検定試験受験者数も多く、京都市内4か所ある検定試験会場の一つで、二人とも3号会員ではありましたが、検定試験委員としてそれぞれ会場に入り、試験実施のお手伝いをし、休憩の合間には、お互いまだ塾を開いていなかったたので、子育てについていろいろとお話をさせていただいた覚えがあります。

その後、2006年（平成18年）より上田先生は検定委員会 検定委員として、年6回ある検定試験実施に当たり、問題準備・会場内外・審査等々に気を配り頂き、とても頼りにさせていただきました。ご病気になるれてからもその姿勢は変わらず、検定試験実施について心配して頂き、自塾の生徒指導も体調が悪くても最後まで続けてこられました。

上田先生は、半世紀以上を「そろばん」と共に「そろばん」を好きで過ごされてきたのだと思います。その思いを私も見習い、今後の指導に活かしていきたいと思えます。

本当に長い間お世話になりました。合掌

読み上げ暗算 日本一

岩手県矢巾町出身の本間さんは、母の勧めで小学1年生から珠算を始め、めきめきと頭角を現した。現在、珠算、暗算ともに9段の腕前。「珠算は努力が必ず力になることが魅力。中でも暗算では集中力が身についた」と語る。

優勝した。

練習では17桁が出てくる計算で正解したこともあったが今回は不正解となり、「不本意な結果だ。前日から調子が悪かった。ルーティンとしていた、ルートを食へ、深呼吸をしたが、駄目だ」

(生田和史)

暗算の主な全国規模の競技大会は、同大会のほか、そろばんグランプリジャパンと全日本珠算選手権大会の三つ。本間さんは、全日本珠算選手権大会のみ準優勝とまりで優勝の経験がなく、「来年こそは全日本でも勝りたい」とさらなる高みを目指す。

立命大の本間さん 全国3大大会制覇へ意欲



関孝和先生顕彰全日本珠算競技大会の読み上げ暗算(高校一般の部)で優勝した本間さん(京都市下京区・京都商工会議所)うつぶせになり、読み上げ暗算のデモンストレーションを披露する本間さん。5桁と13桁と5桁から14桁の2問に見事正解した

群馬県藤岡市で11月に開かれた「関孝和先生顕彰全日本珠算競技大会」の読み上げ暗算(高校一般の部)で、立命館大文学部3年の本間聖康さん(21)が優勝した。小学6年と中学3年で出場した際にも優勝しており、3度目の栄冠に輝いた。

メディア情報 2 会議所公式X 2024年1月12日(金)



京都商工会議所【公式】フォロー @kyoto_cci
1月5日に北野天満宮で4年ぶりに新春そろばんはじき初めが行われました！
京都のそろばん塾に通う170人以上の生徒さんが参加し、全員でご祈祷した後、全国大会で活躍した選手による模範演技を観戦しました。
最後には400桁の長そろばんをはじき、学業成就・武芸上達を願いました！
#新春はじき初め

一級合格
第229回珠算能力検定試験
令和5年10月22日(日)

- (注) ゴシック字は満点合格者
- 岩藤大珠(白梅町)田中裕稀(荒井)
 - 大久保慧信・福田颯真(修学館)梅本真生(草苑牧野)平塚日菜美(天ヶ池)
 - 坂本逸綺・川原一晃・川崎妃真乃・岩崎雪花・松島有希乃(醍醐)小西陽・横田侑香・河井七翔(アイ)中西秀太(浦)齊藤光(五島)盆子原里沙(aaco)内田妃真里・古澤諒・藤林希穂・大西悠斗・林花帆・徳永船人・金田紗幸・杉森亮仁(西京都)
 - 小林樹生・池内珠莉・青柳好乃(西京都)安井・高雄)兼久尚士・白鳥心椛・加藤心優(脳育)中江温都・久世倫太郎・蔵城禾子(猪熊)平岡優一・長谷川翔希・佐藤日菜子・佐藤理一(ねーだん)中野璃乃(木幡平尾)
 - 久田采音・村上麗・藤井咲良(入江)

第264回暗算検定試験

令和5年10月22日(日)
里村光太郎・森元健心(浦)・増田峻・橋本英澄(脳育)・岸凜心・芦田眞依・李俐佳(伸童)

第265回暗算検定試験

令和5年12月10日(日)
山下佳純(高野修学院)・中野秀翔(楠本)・木村紗帆(白梅町)・古澤諒(西京都安井・高雄)・瀧井沙良(伸童)・加藤心優(脳育)・齊藤光(五島)・野小春(北山)・永尾晴哉・中別府莉宇・中別府未宇・下野桃花・小林美結・藤原樹奈・津田結音(誠珠会)

第42回伝票暗算検定試験(近回連)

令和5年12月10日(日)
石原混一郎・佐々木玲奈(DRACO)・岡田優衣・城内翔馬・藤井健・伊藤優輝・田中美月(醍醐)・柴田琴子(桃南)・湯山仁椰・長谷川亜美(木幡平尾)

第42回伝票暗算検定試験(近回連)

令和5年12月10日(日)
櫻木春(アイ)・森元健心・御牧乃愛(浦)・前田蒼空・田保新汰(醍醐)

第264回暗算検定試験

令和5年10月22日(日)
四段(二名) 中野璃乃・中尾陽葵
三段(一名) 池田敦俊
二段(三名) 杉田希真・村田紗和・

第265回暗算検定試験

令和5年12月10日(日)
初段(一名) 西村圭翔
九段(一名) 蟹江紬
八段(一名) 水上拓真
七段(二名) 井爪惺太郎・木村浩貴
六段(一名) 森結佳子
五段(四名) 芦田眞依・楠木菜・森田桜香・長谷川翔大
四段(二名) 杉田希真・浅井とも衣
三段(二名) 森元健心・湖上紬希
二段(二名) 近藤大翔・上村理久
初段(一名) 里村光太郎

第42回伝票暗算検定試験(近回連)

令和5年12月10日(日)
満点十段(一名) 高橋風介
七段(一名) 民谷萌々香
五段(二名) 湖上紬希・吉田和可
四段(一名) 松井嶺
参段(七名) 小川紗波・橋本紗希・吉井晨悟・益子原里沙・田保新汰・谷内穂・前川一希
準参段(五名) 石谷都晴・金史響・金川心春・矢田正鷹・中野璃乃
式段(四名) 小川実夢・前田蒼空・宮下りか・布施芽衣菜
準式段(六名) 清水美咲・早川実咲・谷口佑加理・松村紗梨・長谷川翔大・宮崎絵梨

第139回段位認定試験

令和5年12月10日(日)
初段(五名) 東佑・齊木陽菜・若松真衣・大谷奏翔・廣嶋優伍
準初段(九名) 藤田将伍・川島潤之輔・近藤大翔・細川優風・川原一晃・中村旭牙・市井日和・今井聖梨・松本克輝
十段(一名) 民谷萌々香
七段(一名) 吉井晨悟
準参段(一名) 前田宙邑
準式段(一名) 家村叡瑠
準初段(二名) 松本紗弓・伊藤利人
珠算・暗算申込 142名
珠算申込 82名
暗算申込 18名

第139回段位認定試験

令和5年10月22日(日)
満点十段(一名) 三原智輝
九段(二名) 高橋風介・本間聖康
七段(一名) 久野凌佑
六段(二名) 三原駿介・橋本樹
五段(二名) 矢ヶ部菜月・喜多桃香
四段(一名) 矢ヶ部椎菜
三段(六名) 民谷萌々香・家森快斗・佐藤光・島本和範・日下稜翔・尾崎壮祐
準三段(三名) 風間芽奈・吉井晨悟・高山開智
二段(九名) 長谷川由衣・井上優里・

第265回暗算検定試験

令和5年12月10日(日)
初段(十七名) 小川翔希・藤野百優・鈴木楓菜・小寺里奈・富永英斗・筒井繪菜・尾崎敦啓・矢田正鷹・田中愛莉・齋藤梨乃・西條結衣・田中友士郎・吉田和可・辻由奈・藤木佐理・黒田咲太郎・嶋田菜美
準初段(十八名) 寿野楓・前田蒼空・伊藤陸・宮島彩夏・武田明子・星田和輝・馬場悠葵・眞島凜・松井綾・中野秀翔・正田愛珠・坂部恵都・三輪侑莉子・伊藤志歩・高井翔太郎・関口鈴菜・重面早希・小笠原亜美
暗算段位認定者
満点十段(二名) 高橋風介・三原智輝
九段(三名) 久野凌佑・本間聖康・三原駿介
七段(二名) 佐藤光・矢ヶ部菜月
六段(六名) 家森快斗・橋本樹・日下稜翔・矢ヶ部椎菜・尾崎壮祐・喜多桃香
五段(一名) 松本愛弓
四段(二名) 民谷萌々香・井上優里
三段(九名) 風間芽奈・吉井晨悟・松中悠太・藤井愛理・島本和範・高山

第42回伝票暗算検定試験

令和5年10月22日(日)
満点十段(一名) 高橋風介
九段(二名) 久野凌佑・本間聖康
七段(二名) 佐藤光・矢ヶ部菜月
六段(六名) 家森快斗・橋本樹・日下稜翔・矢ヶ部椎菜・尾崎壮祐・喜多桃香
五段(一名) 松本愛弓
四段(二名) 民谷萌々香・井上優里
三段(九名) 風間芽奈・吉井晨悟・松中悠太・藤井愛理・島本和範・高山

第42回伝票暗算検定試験

令和5年10月22日(日)
満点十段(一名) 高橋風介
九段(二名) 久野凌佑・本間聖康
七段(二名) 佐藤光・矢ヶ部菜月
六段(六名) 家森快斗・橋本樹・日下稜翔・矢ヶ部椎菜・尾崎壮祐・喜多桃香
五段(一名) 松本愛弓
四段(二名) 民谷萌々香・井上優里
三段(九名) 風間芽奈・吉井晨悟・松中悠太・藤井愛理・島本和範・高山

Table with columns for exam type (珠算能力検定試験, 暗算検定試験, 伝票暗算検定試験), grade (級), number of candidates (受験者数), number of passers (合格者数), and pass rate (合格率). It includes data for multiple exams and grades.

(注)伝票・伝票暗算・暗算検定の合格者数は昇段者数、昇段率

開智・林歩咲・尾崎敦啓・河井七翔
準三段(二名) 桑名芽生

二段(八名) 寿野楓・宮島彩夏・
鈴木楓葉・水野雄心・筒井繪菜・砂
田颯太・高井翔太郎・白鳥心椛

準二段(十二名) 日下部蓮・藤野
百優・長谷川由衣・伊藤睦・小川紗波・
高田郁斗・濱田悠生・眞島颯・井上瑠香・
松島有希乃・梅谷一稀・北山隼

初段(十名) 早川璃子・原田六花・
鈴木智成・金木宏太・谷内穂・森結
佳子・内田一平・橋本紗希・木村浩
貴・原祐里

準初段(五名) 畠中心春・工藤颯
人・北原翠弓・古荘れあ・上甲颯大

会員 消息

お悔やみ
明石 正次 様 1号A
伊藤 治美 様
林 悌子 先生 ご母堂

事務局 日誌

十月二十二日

一. 第229回1級〜3級、第151回準
1級〜準3級、第414回4級〜10級
珠算能力検定試験、第264回暗算段位
検定試験;1級〜10級暗算検定試験、
第139回段位認定試験実施

於 京都商工会議所

一. 第3回役員会
1. 10月検定の報告と反省 2.
12月検定について 3. 2023年
全国そろばんコンクールについて
4. 第67回塾生珠算競技大会につい
て 5. そろばんはじき初めについ
て 6. 令和5年度優良生徒表彰に
ついて 7. 令和6年1月14日開催
の研修会について 8. 令和6年1
月14日開催の例会並びに新年会につ
いて 9. 総会開催の日時・会場に
ついて 10. 会報第218号発行の報告

11. 令和6年度・令和7年度役員
改選について 12. その他

一. 会報第218号発行
十一月三日

一. 第67回塾生珠算競技大会
於 京都経済センター7階
十一月五日

一. 近畿ブロック会議ならびに近団
連幹部会合同会議
一. 令和5年度日珠連近畿ブロック懇
談会 於 マイドーム大阪
十一月九日

一. たのしいそろばん打ち合わせ
於 全珠連京都府支部
十一月十四日

一. 第52回近畿珠算競技大会会議
(Zoomによるオンライン会議)
十一月二十日〜二十二日
一. 2023年全国そろばんコン
クール開催
十一月二十六日

一. 二十四代珠算名人位決定戦
於 KFCホール
十一月二十九日

一. 日珠連 第4回振興部会
(Zoomによるオンライン会議)
十二月三日

一. 第6回検定委員会
1. 12月検定について
一. 第4回役員会

1. 12月検定について 2. 2月
検定について 3. 2023年全国そ
ろばんコンクールの報告 4. 第67回
塾生珠算競技大会の報告 5. 第52回
近畿珠算競技大会京都府代表選手選
考について 6. 第52回近畿珠算競技
大会について 7. 令和5年度優良生
徒表彰式について 8. 新春そろばん
はじき初めについて 9. 1月の例会
ならびに新年会について 10. 小学
校支援活動珠算指導の状況報告 11.
令和6年度・令和7年度役員改選につ
いて 12. 令和6年度事業計画につい

13. その他
十二月五日

一. 京都新聞社取材(本間聖康選手)
十二月六日

一. 2024年新春そろばんはじき
初め打ち合わせ 於 北野天満宮
十二月八日

一. 日珠連オンライン見学研修会
(Zoomによるオンライン見学研修会)
十二月十日

第152回準1級〜準3級、第415回
4級〜10級珠算能力検定試験、第265
回暗算段位・1級〜10級暗算検定試
験、第42回段位・1級〜3級伝票算
検定試・第42回段位・1級〜5級伝
票暗算検定試験実施
於 京都商工会議所
一. 2023年全国そろばんコンクール
一. 部門別「全国」決定審査用問題」
実施 於 京都経済センター6階
十二月十七日

一. ちびっ子そろばんフェスティバル(中止)
一. (臨時) 近団連幹部会
於 大阪珠算協会
一. 近畿連合拡大委員会
於 全珠連大阪支部
一月五日

一. 新春「そろばんはじき初め」
於 北野天満宮
一月十二日〜二十一日
一. 第82回きんきベスト100実施
一月十四日

一. 委員会
1. 第11回総務委員会
1. 第7回検定委員会
1. 第3回競技委員会
1. 第3回塾経営広報委員会
一. 第3回例会

一. 研修会
1. 「今後のそろばん業界について」
講師 株式会社朝日プリント社
代表取締役 山田 繁 様
一. 新年会

於 ホテル京都エミナース 27名
一月十六日・二十三日・
一月三十日・二月四日

一. 第12・13・14・15回総務委員会
1. 会報第219号編集並びに校正
一月二十八日

一. 第52回近畿珠算競技大会京都府
代表選手選考会
於 職員会館かみがわ
一月二十九日

一. 第4回塾経営広報委員会
二月二日

一. 第52回近畿珠算競技大会会議
(Zoomによるオンライン会議)
二月四日
一. 第8回検定委員会
1. 2月検定について

一. 近団連競技委員会(きんきベス
ト100第82回大会整理)(中止)

編集後記

今年元日から能登半島地震でお正月番組が
全部地震速報になったり、2日は羽田空港での
航空機事故と2日連続して大きなニュースとな
り、3日目は何が起るのか心配しましたが
何も起こらず、やっとお正月が迎えられました。
まだまだ地震からの復興見込みの先が見えない
まま、去年から帰っていた政治家や議員、
券を巡る裏金問題では、自民党の派閥解散や国
會議員や関係者の逮捕などロッキード事件以来
の政治の大混乱が起っています。安倍派幹部の
7人は起訴立件を免れたようですが、口裏を合
わせたとくに秘書や会計責任者のせいにして自
分は知らなかったと言いつつ謝罪はこれまで何回
も耳にした言葉です。元凶である形ばかりのパ
ーティーを通して膨大なカネを非課税で自由に使
える政策活動費などの名目で、裏金として何十
年間も受け取っていた事が明るみになりました。
岸田総理は去年岸田派を離脱しているのに、今
年になって岸田派の解散を表明するところ矛盾を
誰もおかしと思わないのでしょうか。裏金はど
この社会にも必ずあります。表沙汰にならなけ
れば済んでしまう事が多いです。家庭でのヘソカ
リは裏金になるのでしょうか。国や府県市や会社
でも裏金があるのが潤滑油として正しく使われ
れば良いのですが、正しく使われていれれば裏金
とは言わないでほしい。これを機会に身の回りに
おける裏金について一度考えてみては如何でしょ
うか。(1月末)